

第3学年 保健体育科学習指導案

令和5年11月1日第5校時
板野町板野中学校3年A組32名
指導者 佐藤 安通

1 単元名

健康な生活と疾病の予防 「感染症とその予防」

2 単元について

(1) 教材観

かつては死亡原因の上位を占めていた感染症も、現在では医学の進歩や環境衛生の改善により減少してきた。しかし、近年になり、新興感染症(エボラ出血熱, エイズ, 新型インフルエンザなど)や、再興感染症(結核やマラリアなど)と呼ばれる感染症, 最近では, 新型コロナウイルス感染症が流行し, 新たな課題となっている。性感染症では, 気づかないうちに感染したりさせたりする恐れがあることから, 感染者の増加傾向とその低年齢化が社会問題となっている。

本単元では, 感染症は病原体が主な要因となって発生すること, また感染症の多くは, 発生源をなくすこと, 感染経路を遮断すること, 主体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解できるようにする。また, 感染症の予防は, 生徒自身の健康や生命を守ることにつながることから, 感染症に対する正しい理解と判断力を身につけさせ, 日常的に健康的な生活を心掛けることが大切であることを理解させたい。

(2) 生徒観

(3) 指導観

これまでの学習や情報からの予想, 生活経験から, お互いの考えを出し合うことで, 感染症の予防について理解を深め, 学習したことを生活の中で生かしていける力を育てたい。感染症は, 医学の進歩や環境衛生の改善により減少してきたものもあるが, 未だなお, 私たちの健康を脅かすものであることに変わりはない。正しい知識を身につけ, その情報を自身の実生活に結びつけることで適切に対処できる力を身につけさせたい。

本時の授業では, 目標を達成するための手段として, ICT を積極的に活用したり, 自己や他者の考えをすりあわせる場面において思考ツールを活用したりすることが新たな授業の創造につながり, 生徒主体の学びになると考える。

3 単元の目標

- (1) 感染症は, 病原体が主な要因となって発生すること, 感染症の多くは, 発生源をなくす, 感染経路の遮断する, 主体の抵抗力を高めることによって予防できることや, エイズ及び性感染症の疾病概念や感染経路, 感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて理解できるようにする。
- (2) 感染症の予防について課題を発見し, 疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を考え, それらを伝え合うことができるようにする。

(3) 感染症の予防について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとすることができるようにする。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①感染症は、病原体が環境を通じて主体へ感染することで起こる疾病であり、適切な対策を講ずることにより感染のリスクを軽減すること、自然環境、社会環境、主体の抵抗力や栄養状態などの条件が相互に複雑に関係する中で、病原体が身体に侵入し発症することについて理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②感染症を予防するには、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることが有効であること、感染症にかかった場合は、疾病から回復すること、周囲に感染を広げないために、できるだけ早く適切な治療を受けることが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③エイズ及び性感染症の疾病概念や感染経路、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>①感染症の予防について、課題を発見し、課題解決のために、自他の生活と比較したり関連付けたりするなどして、疾病等にかかるリスクを軽減し、健康の保持増進をする方法を選択している。</p> <p>②性感染症の予防について、習得した知識を関連付け、疾病等にかかるリスクを軽減する方法を考えているとともにそれらを他者に伝えている。</p>	<p>①感染症の原因や予防・対策について、課題の解決に向けた学習活動に自主的に取り組もうとしている。</p>

5 指導と評価の計画（全4時間）

時間	ねらい・学習活動	評価規準	評価方法
1	<p>○感染症は、病原体が主な要因となって発生することについて理解する。</p> <p>○感染症にかかった場合は、できるだけ早く適切な治療を受けることが重要であることについて理解する。</p> <p>○感染症の多くは、発生源をなくす、感染経路の遮断、主体の抵抗力を高めることによって予防できることを理解する。</p> <p>○性感染症の疾病概念や感染経路について理解する。</p>	知①②③	<p>観察</p> <p>タブレット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MetaMoj Classroom ・Google Classroom ・Google <p>スプレッドシート</p>

	○性感染症に感染するリスクを軽減するためにはどうすればいいのかを考える。		
2	○学習した内容を踏まえた上で、感染症を選び、特性や予防対策を調べ、考えを個人でまとめる。 ○個人で収集した情報を同じ感染症を選んだ人同士で共有し、個人またはグループで適切な思考ツールを用いて予防対策に必要な情報を整理する。	思①② 主①	観察 タブレット ・MetaMoj ClassRoom ・Google ClassRoom ・Google スプレットシート
3	○感染予防対策について、自己の経験や生活の振り返りをもとに考え、他者の意見と比較したり、関連付けたりするなどの思考ツールを利用しながら考えを深め、科学的根拠に基づき、具体的にまとめ説明できるようにする。	思①② 主①	観察 タブレット ・MetaMoj ClassRoom ・Google ClassRoom ・Google スプレットシート
4 本 時	○個人でまとめた感染症の特性や予防対策の方法について、自他の生活と比較したり関連付けたり、疑問をもったりするなどして考えを深め、考察し、表現する。	主①	観察 タブレット ・MetaMoj ClassRoom ・Google ClassRoom ・Google スプレットシート

6 本 時

(1) 目 標

○感染症の特性を踏まえて、感染するリスクを軽減するために、習得した知識を関連付けて予防対策を考えるとともに、他者に伝えることができる。

(2) 展 開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体の評価規準	評価方法
導入 5分	1 前時までの流れを確認し、本時の課題をつかむ。	○前時までに用いた思考ツールを確認させることで、本時の活動の見通しがもてるようにする。		
	感染症の特性を踏まえた感染予防対策について考えよう。			

<p>展開 35分</p>	<p>2 個人で感染予防対策についてまとめる。(メタモジ)</p> <p>3 他者のまとめを観察し、疑問点や感じたことを伝え合う。</p> <p>4 他者からの疑問や考えをもとに要点を整理し、考察する。</p>	<p>○科学的根拠や客観的データを用いてまとめるよう助言する。</p> <p>○周りの考えを理解するとともに、疑問点を持ち、考えを伝え、助言する。</p> <p>○他者からの疑問点や考えを踏まえて、考察を促す。</p>	<p>・思①② 感染リスクを軽減す具体的で現実的な方法を自分と他者の意見を合わせて考える。</p>	<p>観察 タブレット</p> <p>観察 タブレット</p>
<p>まとめ 10分</p>	<p>5 他者のまとめをメタモジで共有し、コメントする。</p>	<p>○自分が選んでいない感染症の予防対策から目を通すよう促す。</p>		<p>観察 タブレット</p>

(3) 評価及び指導の例

<p>「十分満足できる」と判断される状況</p>	<p>個人でまとめた感染症の感染予防対策について、自己の経験や生活の振り返りをもとに考え、他者の意見と比較したり、関連付けたりするなどの思考ツールを利用しながら考えを深め、科学的根拠に基づき、具体的に意見をまとめ説明することができる。</p>
<p>「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導</p>	<p>自己の経験や生活の振り返りを促し、自分の健康課題に気付くよう個別に指導を行い、まわりの生徒の意見を尊重しながら、自分の考えを深められるように助言する。また、ICTを活用した共有の仕方や、思考ツールの具体的な活用方法について例示する。</p>